

ここは私たちが想像する「学校」とはちよっと違う



生活のなかから“生きる”を学ぶ

鳥取県智頭町にある新田サドベリースクール。
授業は行われておらず、子どもたちは朝からゲームや屋根登りに夢中だ。
授業は行われておらず、子どもたちは朝からゲームや屋根登りに夢中だ。
子どもの“やりたい”を一番に尊重するこの学び舎では、ルール作りから全体運営まで、
すべて子どもたちが携わり、自分で考え判断し、解決する力を身につけていけるよう運営されている。
学年分けもなく、サポート役の大人も「先生」ではなく、子どもたちによって選ばれる「スタッフ」と呼び、
「今日1日、何をするのかしないのか」すべて子ども自身が決めていく。



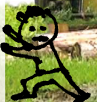
自由をめぐる、大人と子どもの葛藤と冒険のドキュメンタリー



SHINDEN
SADBURY SCHOOL

新田サドベリースクールとは？

子どもの自主性を尊重した自由教育を実践する米国マサチューセッツ州のサドベリー・バレー・スクールをモデルに、地域の子育て中の親たちが中心となって2014年に開校したオルタナティブスクール。「民主主義の学校(デモクラティック・スクール)」でもあり、大人も子どもも対等に話し合う場作りをモットーに運営されている。国の認可校ではないものの、スクールの理念に惹かれた子どもから不登校だった子どもまで様々な生徒が在籍している。
※2021年現在、サドベリースクールは世界に約60校、日本では新田サドベリーが加盟する「デモクラティックスクールネットワーク」加盟9校のほか、部分的な取り入れ校も含め各地で様々に取り組まれている。



屋根の上に吹く風は

…だけど、自由とは何だろう？ 最初は楽しかったけれど、何もしなければただ退屈な時間だけが過ぎていく。子どもとスクールを信じつつも、時に一抹の不安を拭えない保護者たち。「黙って見守る」と“サポートする”の狭間で葛藤が絶えないスタッフたち。それでも大人は子どもたちの背中をそと後押しする。
「なんでもやってみたらいいよ」「みんなで話しあってみたら」
根気のある米作り、初めての喫茶店運営、私立中学受験への挑戦、そして、それぞれの思いが交差するスタッフ選挙——悪戦苦闘しながらもひとつひとつ取り組んでいく…案外、自由って難しい？
「勉強もせず遊んどるがな。大丈夫かいな」近隣住民からの訝しげな視線もなんのその。豊かな自然の四季に囲まれて、歩き始めて間もない学校作りで奮闘する、大人と子どもの悲喜こもごも一年を、長年テレビ業界で多くのドキュメンタリーを手がけてきた浅田さかえ(劇場公開作初監督)が追いかけた。



監督・撮影・編集：浅田さかえ プロデューサー：日笠昭彦、西村陽一郎 音楽：原摩利彦 ナレーション：玉川砂砂子
配給：グループ現代 製作著作：SAKAE ASADA 2021年 | 108分 | 日本 | カラー | ドキュメンタリー | DCP
<https://yane-ue.com> @yanekaze @yanekaze



7月16日(日) 津山市にて上映会決定！！

会場：津山圏域雇用労働センター 大ホール(津山市山下92-1)
参加費：大人¥1,000 高校生以下¥500(当日現金払)

<スケジュール>
13:30~15:20 上映会(会場13:00)
15:30~16:30 グループトーク
Mail: yanenoue.tsuyama@gmail.com
Tel: 070-1498-2272(担当 湊谷)

お申込み
はこちら
(要予約)



主催：新田サドベリースクール
共催：ゆるる岡山 協力：Social Animal Bond